

広げよう！優良実践の輪！

～平成29年度 優良実践校の取組～

取組 9

教職員協働による学力向上の取組

倉敷市立天城小学校

1 はじめに

本校は、児童数約630、倉敷市の東部に位置する学校です。平成27年度より教職員がアイデアを出し合い、学力向上に取り組んでまいりました。

2 取組の概要

(1) 児童が変わる

「天城スタンダード」を作成し、生活規律と学習規律を同じ基準で指導し、徹底を図りました。各家庭にも配付し、保護者に協力を依頼しました。また、書く力を重点的に指導し、ノート記述の仕方を校内で統一して、定期的にノート検定を行いました。

(2) 教師が変わる

中国地区小学校理科教育研究



自主研修の様子

大会の会場校となり、「自然事象のおもしろさを引き出す楽しい理科授業の創造」をテーマに、より質の高い授業を目指しました。経験年数の少ない教師が多くなり、授業に自信をもてない教師が増えてきています。特に理科の授業を苦手にしている割合は高くなっています。



授業の様子

そこで、授業に四つの視点を取り入れることで、誰もが自信をもって授業実践できるようにしました。授業改善は理科だけに留めず、めあてのめたせ方、学習活動の工夫、個別やグループへの支援、全体での話し合い、振り返りの工夫等の指導を全ての教科等にも適用し、どのクラスも同じような流れの授業にしました。

(3) 学区が変わる

中学校区で幼小中の連携を図り同一步調で教育を進めました。中学校区連携教育推進計画を作成し、授業や保育を見合ったり、5校園が同一期間に「家庭学習チャレンジ週間」を設定したりしました。

3 おわりに

以上のような取組によって、どのクラスでも、授業の流れが同じようになり、児童は学習の仕方が分かり、見通しをもって学習できるようになりました。家庭学習の習慣も身に付いてきており、自主勉強も伸びてきています。

教師は、授業の仕方が分かり、毎時間安心して授業に臨めるようになりました。また、教職員が共通理解し、協働による取組を続けることで、士気が高まり、学び続ける教職員集団となっています。

(前年度校長 吉岡 勉)